



# 「異文化理解と多文化共生」 発展途上国の子どもたちの現状

沖縄県立具志川高等学校

〒904-2236 沖縄県うるま市喜仲3-28-1 ☎098-973-1213

**ねらい**  
(育みたい  
児童・生徒像)

発展途上国の子どもたちの現状を知り、その課題を自分ごととして捉え、私たちにできることは何なのか、身近なことから考えることができる。

**授業・実践内容** 【実践者】澤岬良子教諭

アフリカのガーナ、フィリピンの子どもたちが活動している写真を見て、何をしているのかを考える(フォトランゲージ)。「その原因は何だろうか」をグループで話し合い、まとめる。

映像「世界がもし100人の村だったら」を視聴し、世界には児童労働、ストリートチルドレン、学校へ通えない子どもたちが現実に存在することを知る。その課題と「私たちの生活が結びついていることは何だろうか」「できることは何か」を問い、理解を深める。SDGsの17ゴールにつなげて考える。

教科	倫理
対象	2・3学年 (各40人)
時間	50分 ×2コマ



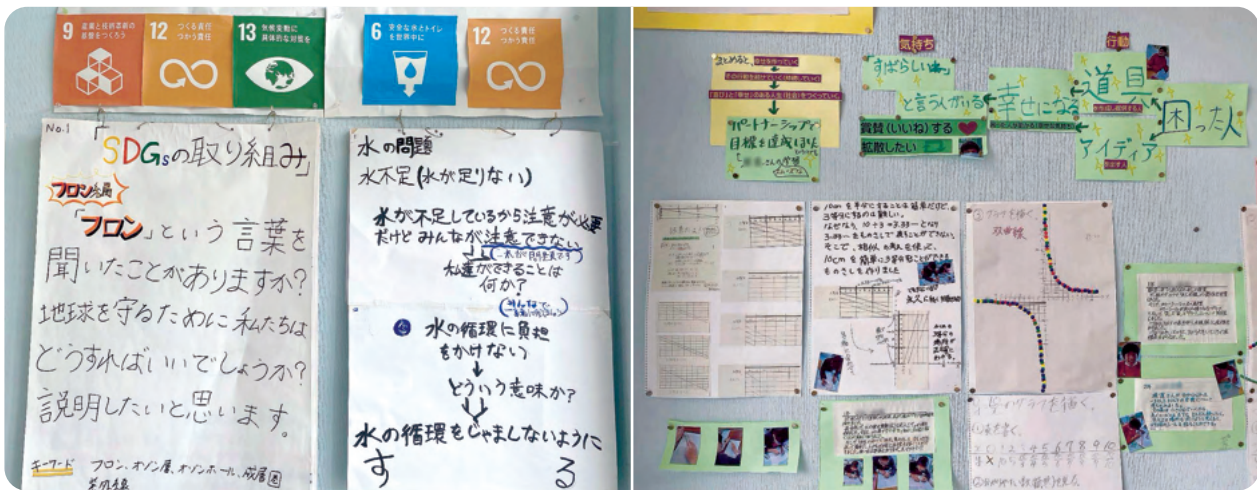
**子どもの反応・変化**  
途上国の子どもたちが1日中働いていることを知り、自分とは置かれている環境が違うことに気付くことができた。私たちの食料や資源がそれらの国々から輸入されていることを知り、つながりに気付くことで「私たちにできることは何か」を考え、深めることができた。「途上国へ文房具を贈ろう」と企画し、全校生徒へ呼びかけて実現することができた。

**教員の反応・変化**  
生徒が世界に目を向け、途上国の課題と私たちのつながりを発見し気付くことを手助けした。そして何ができるのかを共に考えた。さまざまな生徒の視点をSDGsのゴールにつなげることができた。

**課題**  
世界各国の課題を、自分ごとにし、身近な問題として考えることができるよう、新聞や視聴覚教材を工夫をしていくことが必要。また、物があふれている私たち日本の課題を考える視点を、今後の授業で取り入れていきたい。

**教材・参考資料**

- ▶「戦場カメラマン渡部陽一が見た世界」(渡部陽一著、くもん出版)
- ▶DVD「世界がもし100人の村だったら」(池田香代子、マガジンハウス)
- ▶「未来の授業 私たちのSDGs探求BOOK」(佐藤真久監修、宣伝会議)



## 課題の発見と解決に向けた主体的な学び ～つなぐ・つなげるESD～

### 沖縄県立沖縄ろう学校

〒901-2304 沖縄県中頭郡北中城村屋宜原415  
☎098-932-5475



社会の変化に合わせて自ら課題を見つけ、解決に向かうことができる生徒の資質・能力を育むため、各学部・部署がそれぞれ独自の研究テーマを設定し、年間を通じて研究に取り組んだ。幼児児童生徒が身近な課題を扱う場を設定し、考えさせ、協働させ、行動させることで主体性が育まれ、自分と社会をつなぐ・つなげる大切さを理解できるだろう。

#### 各学部・部署の研究テーマ

- ▶ **幼稚部**：主体的に関わる力を育むための保育実践の工夫
- ▶ **小学部**：主体的に他者と関わり伝えあう力を育む授業作り
- ▶ **中学部**：教科間の連携を通したSDGs
- ▶ **高等部**：聴覚障害児を対象とした持続可能な開発のための教育(ESD)の理解と実践  
～ ESDの視点に立った教育活動を目指して～
- ▶ **寄宿舎**：卒業後や社会自立に向けた主体的生活の取り組み



小学部の他者との関わり方では、相手に伝わるように表現を工夫したり、進んで他者の意見について質問する積極性が見られ、児童同士のやりとりが増えた。中学部の教科間の連携を通して、見えないもののつながりが視覚的に理解できると、限りある時間を有効に使うとする姿が見られた。ESDで身につけたい7つの能力・態度が強化されたと考える。

#### 教員の反応・変化

複数の教師が1つの授業を共同で担当することで、生徒の実態を様々な視点で捉えることができ、ESDの視点から見た育てたい児童生徒像を共有したり、明らかになった課題に対して適切な対応を取ることができた。また、聴覚障害児に対応した授業展開の工夫が共有できたことで、教師の指導力の向上を図ることができた。

#### 課題

「持続」は以前と同じことを繰り返すだけでは成立しない。今年度の実践を評価し、課題を改善しながら指導の質を向上させることが「持続可能」な社会を成立させる担い手を育てることにつながる。アップグレードに必要な指導体制を整え、教材の分析、編成を構築し、教師自身が学び続けることが必要である。

#### 教材・参考資料

- ▶ 「わたしがかわる みらいもかわる SDGsはじめてのいっぽ」(原琴乃作、汐文社)
- ▶ 「持続可能な社会をつくる日本の保育 乳幼児期におけるESD」(富田久枝ほか、かもがわ出版)
- ▶ 「新しい道徳1、2、3」(東京書籍)
- ▶ 「聴覚障害教育の手引 言語に関する指導の充実を目指して」(文部科学省)

